

研究指導計画（学位取得までの流れ）

英語学・ロシア語学・中国語学・イスパニア語学・国際関係学・日本アジア言語文化専攻

1年次

院生は授業科目の受講、研究の基本的な枠組み・方向についての分析・整理、必要な関連資料の収集等を行う。指導教員は随時研究の進捗状況を確認し、必要な指導・助言を行う。

入学前	指導教員決定 出願時に提出された研究計画書を参考に、院生の指導教員を決定する。
4月上旬	入学オリエンテーション 事務局はカリキュラム、学修過程、事務手続き等について説明を行う。 指導教員は履修に関して指導を行う。
4月以降	履修登録、授業科目の履修 院生は指導教員の「研究指導」及び修士論文の執筆に関連する科目の履修、学習を行う。 指導教員は研究の進行を確認し、研究テーマ、先行研究の把握、研究手法、研究資料・データ収集等について、随時指導・助言を行う。
前期	研究倫理教育 1年に1回研究倫理に関する研修を実施する。院生は必ずこれを受講しなければならない。

2年次（長期履修3年コースは3年次、4年コースは4年次）

院生は指導教員の指導のもとで、修士論文/課題研究の具体的内容を定め、題目届の提出および修士論文/課題研究の提出を行う。あわせて課程修了に必要な所定の単位数30単位以上の取得を完了する。

4月～	授業科目の履修 院生は引き続き、指導教員の「研究指導」及び修士論文の研究に関連する科目の履修、学習を行う。後期に修士論文/課題研究を提出する前に20単位を取得する。 指導教員は研究の進行を確認し、先行研究、研究資料・データ収集、研究テーマの分析、修士論文の作成、課題研究実施等について随時指導を行う。
前期	研究倫理教育 1年に1回研究倫理に関する研修を実施する。院生は必ずこれを受講しなければならない。
11月 (5月)	題目届の提出 院生は指導教員の承認を得たうえで、学長（大学院事務室）に修士論文題目届/課題研究題目届を提出する。 指導教員は題目を確認し、最終試験の副査を選出する。
12月 (6月)	審査委員（副査）の決定 指導教員（主査）が選出した副査2名以上について、研究科会議での審議を経て学長が決定する。
1月 (7月)	修士論文/課題研究の提出 院生は指導教員の承認を得たうえで修士論文/課題研究と修士論文要旨/課題研究要旨を学長（研究所事務室）に提出する。
1月～2月 (7月～8月)	最終試験 審査委員による最終試験（口頭試問を含む）を行う。 その結果に基づき研究科会議を経て学長が合否を決定する。
3月上旬	修了判定 審査委員会の最終試験結果報告に基づき、修士論文/課題研究の合否判定を行う。修士論文の合否に加えて修得単位の確認を行い、修了判定及び学位授与の決定を行う。 修了判定および学位授与は、研究科会議での審議を経て学長が決定する。
3月（9月）	学位の授与

※（）の時期は9月修了生のスケジュール

研究指導計画（学位取得までの流れ）

英語教育学専攻

1年次

入学時	アドバイザー決定 個々の院生に対しアドバイザーを決定する。
4月上旬	入学オリエンテーション 事務局はカリキュラム、学修過程、事務手続き等についての説明を行う。
4月以降	履修登録、授業科目の履修 院生は履修規程に基づき専攻するコースに必要な科目を履修する。
前期	研究倫理教育 1年に1回研究倫理に関する研修を実施する。院生は必ずこれを受講しなければならない。
(以下については長期履修3年コースの院生は2年次、4年コースの院生は3年次にそれぞれおこなう)	
7月下旬	修士論文ガイダンス 修士論文作成要領、提出資格、審査の概要、スケジュール等について説明を行う。
12月	修士論文執筆予定題目（テーマ）届提出 院生は「修士論文執筆予定題目（テーマ）届」を学長（研究所事務室）に提出する。
2月	指導教員の決定 提出された「修士論文執筆予定題目（テーマ）届」をもとに指導教員を決定する。
2月下旬	修士論文研究計画案の提出 院生は指導教員に研究計画（Research Plan）を提出する。

2年次（長期履修3年コースは3年次、4年コースは4年次）

指導教員の指導のもとで修士論文の具体的内容を定め、題目届の提出および修士論文の提出を行う。あわせて課程修了に必要な所定の単位数30単位以上の取得を完了する。

4月～	授業科目の履修 院生は指導教員の「英語教育学特別研究1・2」及び修了に必要な科目の履修を行う。 後期に修士論文を提出するまでに所定の科目より14単位以上を取得する。 指導教員は研究の進行を確認し、先行研究、研究資料・データ収集、研究テーマの分析、修士論文の作成等について、随時指導・助言を行う。
前期	研究倫理教育 1年に1回研究倫理に関する研修を実施する。院生は必ずこれを受講しなければならない。
9月 (3月)	修士論文中間発表 専攻担当教員は最終試験に至るまでの中間的な進捗状況を確認する。 院生は1人当たり概ね50分程度（発表20分、質疑30分）で、指導教員を含む3名に対し進捗状況を報告する。その報告に対し、教員は指導・助言を行う。
11月 (5月)	題目届の提出 院生は指導教員の承認を得た上で、学長（大学院事務室）に修士論文題目届を提出する。 指導教員は題目を確認し、最終試験の副査（学外審査員を含む）を選出する。
12月 (6月)	審査委員（副査）の決定 指導教員（主査）が選出した副査（学外者を含む2名以上）について、研究科会議での審議を経て学長が決定する。
1月 (7月)	修士論文の提出 修士論文と論文要旨等を指導教員の承認を得たうえで学長（研究所事務室）に提出する。
1月～2月	最終試験（口頭試問）

(7月～8月)	審査委員は口頭試問を行い、修士論文を審査する。口頭試問は1人当たり概ね50分程度とする。
3月上旬	修了判定 審査委員会の最終試験結果報告に基づき、修士論文の合否判定を行う。修士論文の合否に加えて修得単位の確認を行い、修了判定及び学位授与の決定を行う。 修了判定および学位授与は、研究科会議での審議を経て学長が決定する。
3月 (9月)	学位の授与

※ () の時期は9月修了生のスケジュール